

除草業務を受注された皆様へ

除草現場において、草刈機が小石を跳ねとばし、一般車両に損害を与える事故等が毎年発生しております。

除草作業を実施する際には、このチラシを用いて**すべての作業員に周知**し、事故防止に努めてください。

事故の主な発生原因

- ・ 防護材による飛散防止対策が講じられていなかった。
- ・ 防護材を使用していたが、**防護材の幅が狭かったり、防護材と草刈機の距離が離れたり**し、飛散防止が十分できていなかった。
- ・ 防護材を使用しているという安心感から油断が生じた。
- ・ 事故の危険性を予知できたにもかかわらず、**これまで事故が発生しなかったため、油断が生じた。**
- ・ 作業手順の確認や防護材等の点検が徹底できていなかった。

事故防止のための対策

●作業前

- ・ 作業員に対し、**飛散防止対策を徹底**させる。
- ・ 石、空き缶等はできる限り事前に撤去する。
- ・ 除草範囲の近辺に車両があれば、依頼して事前に移動してもらう。
- ・ **障害物の位置を確認**し、目印を設置する等の対策を実施する。
- ・ 作業員、監視員及び交通誘導員の間で**作業手順、役割等を確認**する。
- ・ 草刈機の操作方法を確認する。

●作業中

- ・ ヘルメット、防護メガネ、手袋、安全ベスト等を着用する。
- ・ 飛散防止が必要な箇所では、現場状況に合わせ、以下のいずれかの飛散防止対策を実施する。

特記仕様書
記載事項

- ①飛散の少ないバリカン式又は低速回転二枚刃式の草刈機を使用
- ②飛散防止用ネット等の防護材を使用（推奨寸法：幅2.7m、高さ1.8m程度）
 - ・ 草刈機の刃先と防護材との間隔を詰め、防護材を草刈機に追従させる。
 - ・ 歩道の縁石際など、草刈機の刃先と防護材との間隔が詰められない箇所は、飛散を防止するのに十分な高さや幅を有する防護材を使用する。

- ・ 障害物に損傷を与えないよう、間際は慎重に作業する（手刈り等）。
- ・ 注意力が散漫とならないよう、特に夏場は適切に休憩を取り、水分補給を行う。
また、作業は長時間行わない。